

令和4年度

奈良県立病院機構奈良看護大学校

一般入学試験（前期） 問題

国語総合

注意事項

- 1 試験監督の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、問題1から問題18までです。試験時間は45分です。
- 3 問題冊子、解答用紙には必ず受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄には正確にマークしてください。
- 4 解答は、①～⑤の選択肢から正解を一つ選び、解答用紙の該当する番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
- 5 マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように丁寧に塗りつぶしてください。
- 6 試験中に問題の落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて試験監督に知らせてください。
- 7 問題冊子と解答用紙は回収します。室外への持ち出しは禁止します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の各問いに答えよ。

問題1 次の傍線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) ① 大学で必須(ひつすう)科目を履修する。

② 煩雑(ひんざつ)な計算に苦戦する。

③ 彼は平民宰相(さいそう)と呼ばれていた。

④ 激しい吹雪(ふうせつ)で電車が運転を見合わせた。

⑤ ライオンが敵を威嚇(いかく)する。

(2) ① 殊勝(こうしょう)な態度を心がける。

② 脈絡(みやくらく)のない話を始める。

③ もはや一刻の猶予(しゅうよ)もない。

④ 我が社は現在内憂外患(げかん)の状態だ。

⑤ 二日かけて観光名所を巡(たど)る。

問題2 次の傍線部の漢字が正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) ① 不要な外出を最少限に控える。

② 新しい条約が今年から発効する。

③ 専門性を生かした仕事に就く。

④ イベントにかかる費用を續算する。

⑤ 規制緩和により大きな弊害が生じた。

(2) ① 皆が異句同音に反対を唱えた。

② キャプテンがチームの連体感を高める。

③ この決断は将来に禍根を残すかもしれない。

④ 彼の表現には語弊がある。

⑤ 新しい雑誌が創刊された。

(3) ① 登場人物の総関図を見る。

② 二つの文化が協存する。

③ 彼女は優れた攻績を世に残した。

④ 集団いじめを看過してはならない。

⑤ この温泉には多くの攻能がある。

問題3 次の傍線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選択せよ。

(1) 彼の成績はこの三ヶ月で飛_レヤク的に向上した。

① ゲームに勝とうとヤツ起になる。

② ドイツ語の書籍を翻ヤクする。

③ 処方箋をヤツ局に持っていく。

④ 東京都の人口はヤク一四〇〇万人である。

⑤ 文化祭で上演する劇の配ヤクを決める。

(2) 商品の販売を外部に委_レタクする。

① 家族全員で食_レタクを囲む。

② 二人で結_レタクして悪事を働く。

③ 潤_レタクな資金を供給する。

④ 月に一回在_レタク勤務制度を利用する。

⑤ 決議案が全会一致で採_レタクされる。

(3) 内容を一部カ_レツ愛して説明する。

① その事件は県警が管_レカツしている。

② パラグライダーが空中をカ_レツ空する。

③ 時計を一カ_レツ払いで購入する。

④ 上杉謙信は群雄カ_レツ扱の時代を生きた武将である。

⑤ 心の中にカ_レツ藤が生じる。

問題4 次の慣用語、四字熟語または故事成語の意味として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 押しも押されもしない。

- ① 客が少なくなくてひっそりしているようす。
- ② 大勢の人が集まって混雑しているようす。
- ③ 確かな実力があり、堂々としていること。
- ④ 仲が悪い者どうしであること。
- ⑤ 簡単には他人の意見に従わず、あくまでも自分の意見を押し通す性質であること。

(2) 嚙かんで含める。

- ① うまいものや高級なものを食べ慣れており、味の善し悪しに敏感になること。
- ② 慎重の上にも慎重を期すこと。
- ③ 大したことはないと決めて掛かって、軽く見ること。
- ④ 今さらどうにもならないことを、後になってから悔やむこと。
- ⑤ 十分に理解するように言い聞かせること。

(3) 一子相伝

- ① 大声をあげて励ましたり叱ったりして、相手の気持ちを奮い立たせること。
- ② ちよつとしたしぐさや、動作、立ち居振る舞い。
- ③ 先祖伝来の技術や奥義を、相続者であるひとりの子だけに継がせて、ほかには漏らさないこと。
- ④ いざというときにだけ繰り出す、とっておきの物や手段。
- ⑤ 師匠や先生が、これと見込んだ弟子に技芸・武術などの奥義や極意のすべてを伝授すること。

(4) 手練手管

- ① 人を自分の意のままに操ろうとする、さまざまなわざのこと。
- ② さまざまな意見が次から次へと出て、盛んに議論すること。
- ③ すべてに勝ち続けていること。
- ④ 互いに励ましあって鍛錬や修行をすること。
- ⑤ 激しい勢いで、すばやく動き回ること。

問題5 次の意味に該当する慣用句または四字熟語として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 無駄話などをして時間を費やし、するべき仕事を怠ける。

- ① 地金が出る。
- ② 斜に構える。
- ③ 面の皮が厚い。
- ④ 清濁併せ呑む。
- ⑤ 油を売る。

(2) 物事を諦めさせるために、最終的な言い渡しをする。

- ① 引導を渡す。
- ② 灸きゅうを据える。
- ③ 爪の垢かかを煎じて飲む。
- ④ 物は言いよう。
- ⑤ 肝胆を砕く。

(3) 動作などが極めて素早いこと。

- ① 天馬行空
- ② 電光石火
- ③ 天衣無縫
- ④ 隱忍自重
- ⑤ 獅子奮迅

問題6 「インサイダー」の意味として正しいものを一つ選択せよ。

- ① 芸術家・芸人・団体などを経済的に援助する人。
- ② にせもの、模造品。
- ③ 傾向、動向。
- ④ 集団・組織などの内部の人。
- ⑤ 同種のものや人の集まり。

問題7 「臨機応変に物事に対処出来る様子」を意味する語句として正しいものを一つ選択せよ。

- ① フイクション
- ② ノベルテイ
- ③ フレキシブル
- ④ マーケティング
- ⑤ リコール

問題8 「疎外」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 排斥
- ② 疎遠
- ③ 外野
- ④ 受容
- ⑤ 孤独

問題9 「謙虚」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 謙讓
- ② 自慢
- ③ 悪態
- ④ 高慢
- ⑤ 遠慮

問題10 傍線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- ① 石にへばりついても、志望校合格を目指す。
- ② 各メーカーは、新商品の開発にしのぎを削っている。
- ③ 大勢の候補者の中から彼に白羽の矢が当たった。
- ④ 敗者復活戦に勝ち進み雪辱を晴らした。
- ⑤ 彼の会社はリサイクル事業に先鞭を切ったとされている。

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

純日本的な美しさの最も高いものは庭である。庭にはその知恵をうずめ、教養を匿^{かく}して上に土を置いて誰にもわからぬようにしている。遠州や夢窓国師^(注1)などは庭の学者であった。そうでない名もない庭作りの市井人が刻苦して作ったような庭に、匿^{かく}された教養がある。

庭をつくるような人は陶器とか織物とか絵画とか彫刻とかは勿論、料理や木地やお茶や香道のあらゆるつながりが、実にその拔路^{ひきだち}に待ちかまえてい
ることに、注意せずにいられない。(ア)精神的にもそうだが、あらゆる人間の感覚するところの高さ、品の好き、匂いの深さにまで達する心の用意
があることになる。人物ができていなければ庭の中にはいつてゆけない、すくなくとも庭を手玉にとり、掌中に円めてみるような余裕が生じるまでは、

(イ)人間として学ぶべきものをすべてを学んだ後でなければならぬような気がする。鉄のような精神的な健康もいるし、一茎の花にも心惹かれる柔
らかい詩人のたゆたいが要り、十人で引く石も指一本で動かす最後の仕上げにも、徹底的な勝利をも目ざしてその仕事につかねばならぬ。はいり込ん
で行けば生やさしいことは一つとして存在していない。この世界では、もうよかろうという言葉や、いい加減にしておこうということは、忌み嫌われ
る。進んだら退くことを知らぬ。庭作りの最後は財を滅ぼし市井の陋居^{ろうきょ}に閉息^(注2)するものが多い。A

庭を見るということもその日の時間がたいせつであって、朝早く見て美しい庭もあるうし、午後の斜陽の射すところに栄える庭もあるうから、その庭
の主人にいつごろがいいかということや打合せする必要がある。いきなり訪ねて庭を見せてくれということは無^ぶ躑^{しつ}であって、読書している机のそば
にいきなり訪ねて座り込むようなものである。たいていの庭は午前なら十時ごろまでは日の射し方もなめにはしているから、直射する午後一時か
ら三時ごろを避ければ、夕方はどういう庭でも美しいという理由で、この二つの時間に庭を見ることで間違いはなく、無礼でないかも知れない。

夕方も大して暗くならない日没前一時間くらいなら、春夏秋冬を通じてまず夕暮の庭を見ることで、時間的に効果が多い。B

その日没後すっかり暗くなるまでの庭を見、庭が夜の中に沈み込むのを見おさめることは、庭というものの精神を見てやるようなものである。しか
しそれはその庭の主人がいつも見ているだけで、他人が見られない奥の深いところかも知れぬ。庭が夜の中に、襟を正して身づくろいしながら褥^{しとね}
にはいるときは、その庭にあるものが一さいに融^とけあう美しい瞬間である。花も石も、木の幹も、(ウ)みなそれぞれに見る人の心につながって来る。
見る人に物思いがあり人のことを考えているなら花も、木、石も物思いの美しさを加え、殖やしてくれる。建築、造園、教養、叡智^{えいち}、学問、そんなも
のに思いをひそめている人がいたらその人は庭をみながら柔らかに教養、叡智の捌^はけ口を、手つだつてくれることに気づく。滝田樗蔭氏^(注3)は脇息
にもたれ庭を見ながら雑誌に書いて貰^{もら}う小説家や評論家を頭でえらんでいたそうであるが、滝田氏でなくとも(エ)建築家や事業を目ざす人びとが、
その仕事を庭を見ながら組立てることもあるだろう。C

私は最近庭には木も石もいらぬような気がし出した。垣根だけあればいい、垣根だけを見て、あとは土、あるいは飛石を見るか、苔^{こけ}を見るように
して木というものはできるだけすくなくまた石もできるだけ少なくてと考えるようになった。(オ)、庭で最初に眼につくは垣根であり、垣根は
表からも裏からも座敷から見えるからである。垣がいい垣ならそれだけ見ておればいい、小さい市井の庭ならなお垣だけ見られるようにしたいと考

えている。竜安寺石庭の築地の塀があれらの虎の子渡しりようあんじの石を抱いているのも、築地の塀が利かなかつたら、石庭の輪郭と緊張が失われるように思える。市井の庭なら生垣にさまざまな四季の花時を見込んで、生垣仕立にすれば垣根だけで結構見られるのである。小さい庭に雑然と木を植え込んだ庭ほど緊張を失った生活を髣髴ほうふつせしめるものはない、庭は日本の身だしなみであり、あそこにこそ、小さく貧しい庭であっても、日本の肌身がある。庭をつくるということは贅沢ぜいたくではなく、生きた父とか母とかの歴史が、すぐ茶の間から見えるという、そんな親しさを身近に感じるとすれば、石一つ鳳仙花ほうせんか一本でも、(カ)その家の歴史を物語ってくれるものである。①

すこし凝った庭なら築地の塀だけを見てもいい、瓦と土の塀を見れば、雑庭風な妄念を去ることができる。しかしここまで行くには、人は死に近づいていることが意味される。人はその生涯において派手な庭をつくり、そしてやがて瓦と土とを終日見ている、もはや石や灯籠も、花も見なくなるといえば、やつと一人前の庭つくりになったといえよう。庭も何も持っていない人で、いつも庭を頭でつくっているような人がいたら、その人は最後に垣根と土とを見ていて十分に満足するかも知れぬ。天下の名園を見つukした人にはもはや何もいらぬはずであった。②

(室生犀星「日本の庭」による)

(注) 1 遠州や夢窓国師―有名な茶人、禅僧 2 陋居―粗末な家 3 滝田樗蔭氏―ジャーナリスト

問題 11 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の①～⑤のうちから一つ選択せよ。

戦国時代の主将が明日の戦いに思いをひそめるためには、どれだけ庭の静かさが必要だったかわからない。

- ① A
② B
③ C
④ D
⑤ E

問題 12 空所（ア）に当てはまる語句として最も適当なものを選択せよ。

- ① しかし
- ② 何故ならば
- ③ また
- ④ それに反して
- ⑤ 結局

問題 13 傍線部（イ）「人間として学ぶべきものすべてを学んだ後でなければならぬ」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを選択せよ。

- ① 庭造りには際限なく長い時間がかかるため、人生の最後に取り組むことが望ましいから。
- ② 豊かな教養と鋭い感性を身につけてからでなければ庭を理解することはできないから。
- ③ 庭の良さは、歳を取ってはじめてわかるものだから。
- ④ 庭の良さを理解できなければ、庭の作り手に対して失礼になるから。
- ⑤ 庭の鑑賞はその庭の作り手との真剣勝負であり、中途半端な知識では負けてしまうから。

問題 14 傍線部（ウ）「みなそれぞれに見る人の心につながって来る」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを選択せよ。

- ① 夜間は庭の静けさも増し、庭を見る者と庭との一体感が増すため。
- ② 夜の到来とともに、庭が活動を停止し、昼間には見せない姿を見せるため。
- ③ 夕暮れ時には、庭にうずめられた様々な知恵や教養が現われ、それが見る人の心と呼応するため。
- ④ 暗くなることにより、花や石などが、庭を見る人に語りかけてくるため。
- ⑤ 夕暮れ時は一日のうちで庭が最も美しく見える時間帯であるため。

問題 15 傍線部(エ)「建築家や事業を目ざす人びとが、その仕事を庭を見ながら組立てる」とあるが、なぜそうするのか。最も適当なものを選択せよ。

- ① 庭の美しさが、高ぶる気持ちを静め、落ち着かせてくれるから。
- ② 庭に溶け込む様々な知識や知恵が、自分の考えをまとめる手助けになるから。
- ③ 庭を理解する能力を身に付けることができたから、他の事業でも成功できるから。
- ④ 庭は誰にも邪魔されない空間であり、精神的に集中するのに適した場所であるから。
- ⑤ 庭の持つ空間的な広がり、他の事業でも取り入れることができるから。

問題 16 空所(オ)に当てはまる語句として最も適当なものを選択せよ。

- ① しかし
- ② あるいは
- ③ さらに
- ④ 何故かといえば
- ⑤ そこで

問題 17 傍線部(カ)「その家の歴史を物語ってくれるものである」とあるが、それはどのようなことであるか。最も適当なものを選択せよ。

- ① 庭には、いつ、誰が何を配置したかが記憶されていることから、家族の思い出をたどることができること。
- ② 庭の大きさがその家の豊かさや貧しさを表し、家族がどのような生活をしてきたかが表れること。
- ③ 茶の間の前に庭を配置することで両者が一体となり、家族にとつて貴重な生活空間となること。
- ④ 家族の成長とともに庭の石や花が増えることから、庭の豊かさに家族の豊かさを映し出されること。
- ⑤ 庭には造り手の精神が投影されるため、庭を見れば家族のそれまでの生き様をうかがい知ることができること。

問題 18 a～dのうち、本文の内容と合致するものの組み合わせとして正しいものを一つ選択せよ。

- a 庭の造り手が自分の知識や教養をひけらかすように造った庭は美しいとは言えない。
- b 小さい庭では、木や石を置かずに生垣から季節の移ろいを楽しむのも良い方法である。
- c 庭を愛する人は、人として学ぶべきもののすべてを学んだ人格者である。
- d 精神的に強くない人が、庭の良さを理解するのは難しい。

- ① aとb
- ② aとc
- ③ aとd
- ④ bとc
- ⑤ bとd